

『CD・DVDメディアの種類』

パソコンの記録媒体として普及している、円盤型のメディアであるCDとDVDは、外観は同じに見えますが中身は全く違い、利用するにも対応した機器が必要です。さらに、同じCDやDVDであっても、多くの規格が存在しているため、どのメディアを利用すべきか迷われたことはないでしょうか？今回はCDとDVDについて、規格・種類・特徴について説明いたします。

CD (Compact Disc … コンパクトディスク)

音楽CD、PC (パソコン)データ用CD、PCへのソフトウェアインストール用CD等があり、家電販売店等で見かけることが多いと思います。これらのCDの記録可能容量は、直径12センチ(一般的なサイズ)のCDの場合、音楽データは74分または80分、PC用データは650MB (メガバイト)または700MBのものがあります。

主要な規格としてCD-ROM (Read Only Memory、読み出し専用)、CD-R (Recordable、追記可能)、CD-RW (ReWritable、書き換え可能)の3種類があります。







DVD (Digital Versatile Disc … デジタル・バーサタイル・ディスク)

見かけ上はCDとあまり変わりませんが、記録できる容量はCDの約7倍もある大容量ディスクです。片面仕様と両面仕様があり、それぞれ4.7GB (ギガバイト)、9.4GBになります。

規格はCDよりも多く、DVD-ROM (読み出し専用)、DVD-R / DVD+R (一度だけ書き込み可能)、DVD-RW / DVD+RW (約1,000回の書き換えが可能)、DVD-RAM (Random Access Memory、約10万回の書き換えが可能)などがあります。

各規格の比較

多くの規格がありますが、機器(ドライブ)のロゴマーク表記によって対応しているかをご確認いただき、特徴をご理解いただいたうえで適切なメディアをご選択ください。

ロゴ	ディスクの種類	記録容量	特徴
	CD-ROM	650MB/700MB	再生専用CDです。書き込みはできません。
	CD-R		一度だけ書き込み可能。誤ってデータを消してしまうことがないため、バックアップに適しています。
	CD-RW		ディスク単位で書き換え可能。一時的なデータの保存や、定期的なバックアップを取る場合に適しています。
	DVD-ROM	4.7GB (1層) /8.5GB (片面2層) /9.4GB (両面1層)	再生専用DVDです。書き込みはできません。
	DVD-R	4.7GB (1層)	一度だけ書き込み可能。誤ってデータを消してしまうことがないため、バックアップに適しています。書き込みメディアとしては安価です。
	DVD-RW		ディスク単位で書き換え可能。一時的なデータの保存や、定期的なバックアップを取る場合に適しています。
	DVD-RAM	4.7GB (片面) /9.4GB (両面)	ファイル単位で書き換え可能なため扱いやすく、頻繁にデータを更新したい場合に適しています。再生できない機器も流通しているため、互換性を重視する場合は注意が必要です。
	DVD-R DL	8.5GB (片面2層)	2層式により容量が増加。
	DVD+R	4.7GB (1層)	一度だけ書き込み可能。誤ってデータを消してしまうことがないため、バックアップに適しています。
	DVD+RW		ディスク単位で書き換え可能。一時的なデータの保存や、定期的なバックアップを取る場合に適しています。
	DVD+R DL	8.5GB (片面2層)	2層式により容量が増加。

次世代DVD規格

「ブルーレイディスク」や「HD DVD」といったさらに大容量化されたディスクも登場しています。DVDと同一サイズながら、15GB以上の容量を持っています。こちらに対応したドライブでのみ利用可能となりますので、注意が必要です。